

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	産業建設部		
	20010	亀山市事業継続緊急支援事業	課名	産業振興課 商工業・地域交通G		
	施策体系	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上	財務科目	会計	01:一般会計
		基本施策	02:地域に根ざした商工業の活性化		款	07:商工費
		施策の方向	03:市内事業者の経営力の向上		項	01:商工費
		戦略プロジェクト	-		目	02:商工業振興費
事業予定期間	R 2 ~ R 2 年度		主な根拠法令要綱等			

目的・概要	対象	市内に主たる事業所又は営業所を有する事業者
	目的	新型コロナウイルス感染症による地域経済への影響が長期化する中、売上が減少し、融資による資金繰りを行っている事業者に対して、事業継続を後押しするため、事業全般に広く使える支援金を速やかに支給する。
概要	令和2年2月1日から令和3年2月28日の間において新型コロナウイルス感染症対策関係の融資を受けた事業者に支援金を支給する。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
年度計画			○市内中小企業者、小規模企業者等及び個人事業者へ支援金の支給 ・法人 20万円 ・個人事業者 10万円		
			市内中小企業者、小規模企業者等及び個人事業者へ支援金の支給 (359件) 58,100,000円 ・法人(222件) 44,400,000円 ・個人事業者(137件) 13,700,000円 事業のPR ・市広報、商工会議所会報誌での周知 ・ホームページへの掲載 ・セーフティネット認定事業者への郵送件数 353件		
事業の計画・実績	計画額	事業費	64,100千円		
		国庫支出金	64,100千円		
		県支出金			
		地方債			
		その他			
一般財源	0千円	0千円	0千円		
事業費	予算額	事業費	64,000千円		
		国庫支出金	64,000千円		
		県支出金			
		地方債			
		その他			
一般財源	0千円	0千円	0千円		
決算額	決算額	事業費	58,226千円		
		国庫支出金	58,126千円		
		県支出金			
		地方債			
		その他			
一般財源	0千円	100千円	0千円		
人件費	人件費	総人件費	0千円	1,568千円	0千円
		一般職員	0千円	1,568千円	0千円
		所要人員		0.20	
		会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円
総コスト(+)		0千円	59,794千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称	支援金支給の数	計画値	400	
		支援金を支給した事業者の数	実績値	360	
			単位	事業者	
	名称		計画値		
			実績値		
			単位		
名称		計画値			
		実績値			
		単位			

事業の改善	前回評価	[前回評価の対応方針の概要を記入]
	改善行動	[前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか]

		評価	(判定)
事業の評価	活動	[計画どおりに実施できたか] 売上が減少し、融資による資金繰りを行っている事業者に対して、事業継続を後押しするための支援金の交付に向け、市広報、商工会議所会報誌での周知、ホームページへの掲載などPR活動を行うとともに、セーフティネット認定事業者(353件)に対して郵送での案内を行った。支援金については、中小法人等で222件、44,400,000円、個人事業者で138件、13,800,000円、合計で360件、58,200,000円の交付を行った。	A 計画どおり実施できた
	成果	[成果は順調に上がったか] 制度設計から申請受付開始まで約2週間、その後1か月間に申請のあった360事業者に対して支援金の給付を行うことができ、スピーディな経済支援対策となったと言える。また、対象者が概ね特定されていたことから、制度の周知を郵送で行ったことにより、目標値の400件には届かなかったが、短期間でありながらも多くの事業者を支援することができた。	A 十分な成果を得た

今後の対応方針	課題	[課題は何か] 融資を受けていることを交付要件とすることに對して平等性に欠けるという意見も一部あった。また、申請手続き上、令和3年2月28日までに対象となる融資を受けていることを条件としたが、融資までには2週間程度の審査等がかかるため、本事業開始後に融資を受けようとした人は対象とならなかったケースもあったので、制度の告知期間も考慮する必要があった。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他 [その他の場合、その内容を記載] 新型コロナウイルス感染症による地域経済への影響を見極めながら、必要な対策を講じる。
	対応	[課題に対し、どのように対応するか] 新型コロナウイルス感染症の影響による経済対策については、経済の停滞期に実施する本事業のような支援金や給付金などの経済支援対策と、回復期に実施する亀山エール飯チャレンジ事業やプレミアム付商品券などの消費喚起対策に分けられ、状況を見極めながら必要な対策を講じていく。	
	効果	[対応することで、どのような効果が期待できるか] 市内事業所の経営継続を支援し、この状況を乗り切ってもらい、収束後に経営が回復して安定することで、地域経済の活性化に繋がる。	
対応時期		-	

[1次評価者]	産業建設部 産業振興課 商工業・地域交通グループリーダー 井上 和哉
[最終評価者]	産業建設部 産業振興課長 富田 真左哉

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	/	/	/	A	
	成果	/	/	/	A	

令和2年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		64,000 千円
内訳	令和元年度からの繰越額	千円
	令和2年度の最終予算額	64,000 千円
	令和3年度への繰越額	千円